

Business Report

第32期 | 中間株主通信

2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日

コムチュア株式会社
COMTURE CORPORATION

証券コード 3844



2016年3月期
(第2四半期)

5期連続
4期連続
**売上高、営業利益 とも
過去最高を更新しました!**

売上高

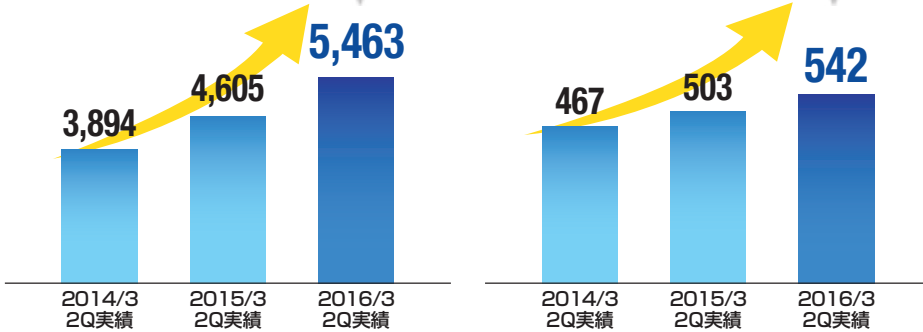
(単位:百万円)

前年同期比
18.6%UP

営業利益

(単位:百万円)

前年同期比
7.7%UP



「NEXT10」
7つの戦略で
1,000億円企業を
目指します!!

高収益の維持と株主への還元

ROE20%超

(2016年3月期見通し)

配当性向35%以上

(2016年3月期見通し)

ROE **26.2%**

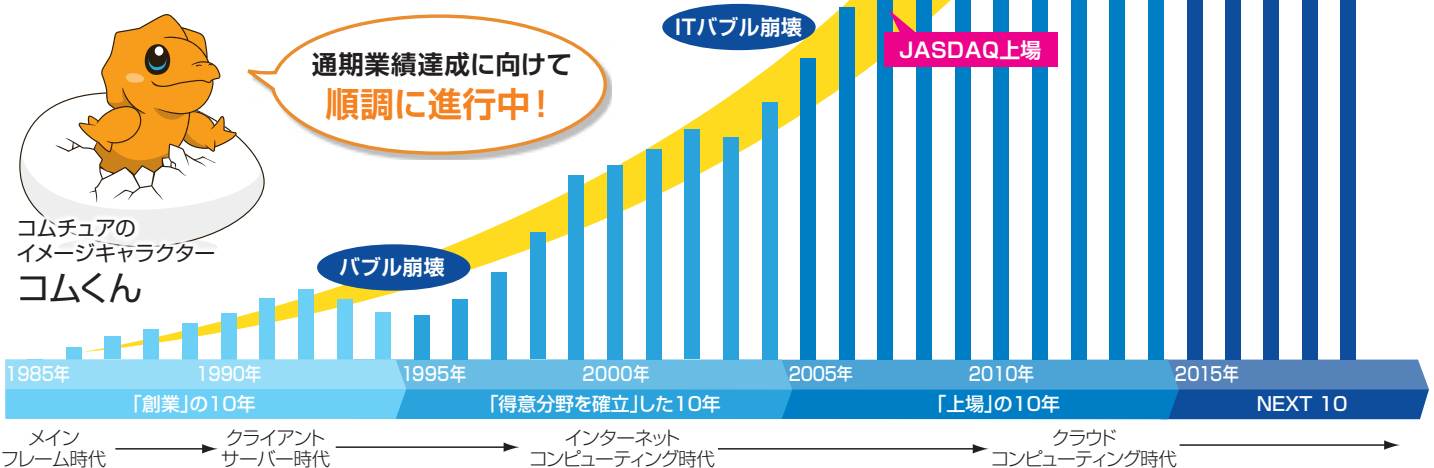
東証一部上場企業平均 8.4%

配当性向 **35.0%**



コムチュアの
イメージキャラクター
コムくん

通期業績達成に向けて
順調に進行中!



Q 当中間期の業績は？

A コムチュアはクラウド時代への変化を想定して早くから取り組んできた「クラウド&モバイル」ビジネスを中心に、4つの分野（グループウェアソリューション事業、ERPソリューション事業、Webソリューション事業、およびネットワークサービス事業）での事業を推進してまいりました。また、同時に高付加価値化の追求、生産性向上と高品質への取り組みも継続的に行ってまいりました。これにより、当中間期の業績は売上高55億円（前年同期比18.6%増）、営業利益5億円（前年同期比7.7%増）となり、中間期として過去最高となりました。

主に、クラウド事業の拡大、大規模ユーザーからの受注増および金融分野での受注拡大に加え、連結子会社の増加等により、売上高は5期連続の増加となりました。営業利益は高付加価値化戦略による一人当たり売上高の増大を図り、要員補強や当社の成長基盤である人材育成のための先行投資も行った上で4期連続の増加となりました。

Q 通期の見通しは？

A クラウド事業の成長、金融分野での継続的な受注拡大、マイナンバー関連ビジネスの増加による売上高の拡大に加え、高付加価値化、生産性の向上、プロジェクト管理の強化に取り組むことにより、収益率の維持向上を目指してまいります。

これにより、通期の業績は売上高120億円、営業利益13億円と前期と比較して20%を超える成長を遂げ、いずれも過去最高を見込んでおります。

■ 2016年3月期(通期)計画 (単位：百万円)

	2015年3月期 (通期)実績	2016年3月期 (通期)計画	前期比
売上高	9,864	12,000	+21.6%
営業利益	1,055	1,280	+21.2%
経常利益	1,059	1,280	+20.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	641	776	+21.0%
1株当たり 当期純利益	121.07円	160.05円	+32.2%

CEO、COOが答える！

コムチュア

一問一答



代表取締役会長 CEO
向 浩一



代表取締役社長 COO
大野 健

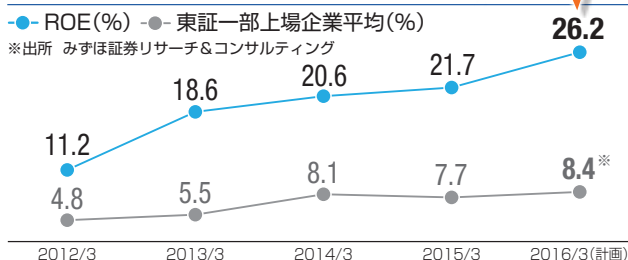
Q 成長継続の要因は？

A 成長の源泉は常に新しいことにチャレンジする「絶え間ないイノベーション」です。時代の潮流をいち早く捉え、お客様の「ささやき」(ご要望)を「カタチに」(提案)し、付加価値の高いサービスを提供し続けることによって、成長してまいりました。また、経営の基盤である「人づくり 組織づくり 仕組みづくり」を継続して行ってきたことも成長の源となっています。

これらにより、売上の成長・拡大とともに、20%を上回るROE(株主資本利益率)を重要な指標とした、質を伴う成長を実現しています。今後はクラウドのみならず、ビッグデータ、IoT、セキュリティなどの新たなITの潮流やマイナンバーなどの新しいビジネス分野にもチャレンジし、飛躍的な成長を目指します。

20%を
超える高収益

ROE

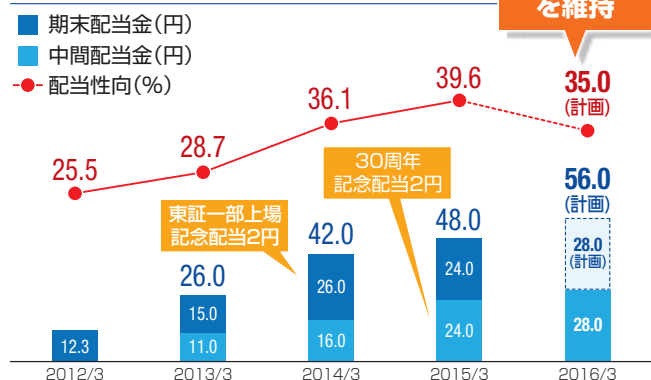


Q 株主還元の方針は？

A 利益配分については、将来の事業展開と経営基盤の強化に必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様に対して積極的に利益還元を行うことを基本方針としております。配当性向は過去3年の実績をふまえ、今後とも35%以上を維持してまいります。

今期は中間配当28円、期末配当28円、計56円を計画しております。これは前期に対し8円(普通配当は10円)の増配で、配当性向は35%となります。

配当金、配当性向の推移



知っトク!

クラウドってなに？

クラウドを利用することで、企業にとっては、データを保存するサーバーを自社で所有する必要がなくなり、サービスを利用することになりますので、コストや利便性が向上します。また、業務システムの開発が短期間で可能となり、保守や運用の手間も軽減されます。もちろんセキュリティも万全です。利用者は、インターネット上に保存された仕事に必要ないろいろなデータを、会社や自宅のパソコンからだけではなく、タブレットやスマートフォンを使って、いつでも、どこからでも、必要な時に、見たり編集したりすることができるようになります。



コムチュアは、このようなクラウドのメリットにいち早く着目し、既に多くの企業に対して、クラウドのコンサルティングから導入支援、システム開発、保守・運用までのサービスを展開してきました。その中で最近の事例をご紹介します。

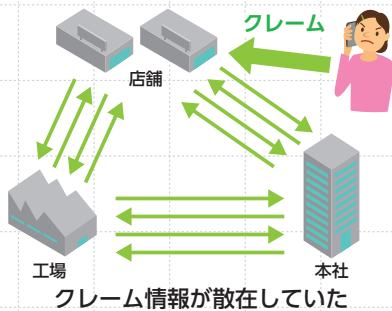
CASE STUDY 事例1

食品クレーム対応管理システム

— 全国で300店舗を展開する小売業様向け —

Before

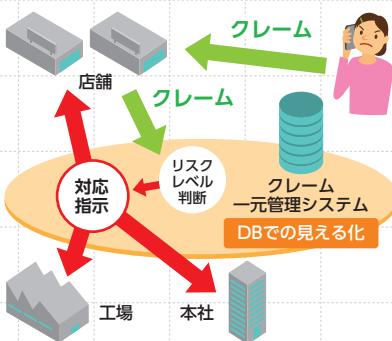
- 異物混入など、食品に関するクレームは年間2,000件以上発生。
- 店舗でのお客様対応を誤ると市場で悪い評判が広がり、事業に大きな損害を与える。
- クレーム情報が、店舗・本社・工場に散在していた。



スピードが遅い
次に活かせない

After

- クレームを一元管理し、リスク管理部門がリスクを診断。
- 即座に対応指示が担当部門に届き、スピーディーに対応。
- 対応状況がどの部門でも確認でき、確実なクレーム対応が可能に。



スピードUP 次に活かせる
顧客満足度UP

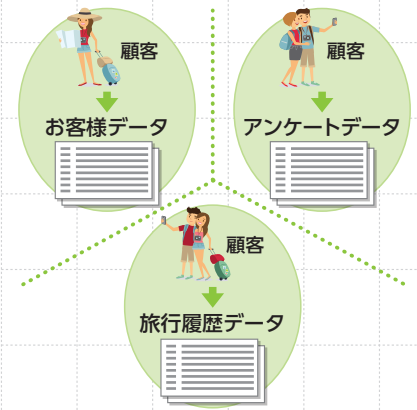
CASE STUDY 事例2

旅行会社 顧客管理システム

— 全国で140店舗を展開する大手旅行代理店様向け —

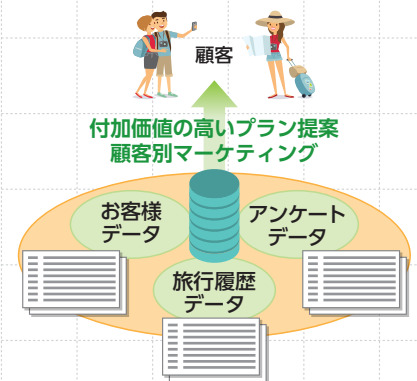
Before

- 全国の店舗にある3種類のデータ
 - ▶ お客様データ
 - ▶ 旅行履歴データ
 - ▶ お客様のアンケートデータ
 は全部で200万件を超え、ばらばらに蓄積。
- お客様に最適な旅の提案ができていなかった。



After

- 3種類のデータをお客様別に紐付け、一元管理。
- 来店したお客様の旅行履歴などを見ながら、付加価値の高い旅行プランの提案が可能に。
- お客様満足度を向上させることに成功。



データを紐付け一元管理し、お客様に提案

知っトク!

社会保障・税番号制度 マイナンバー制度って？



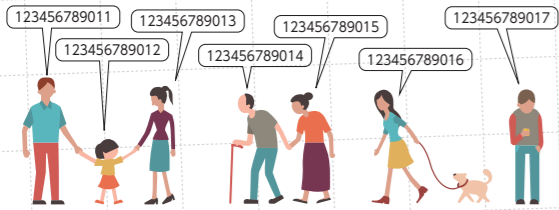
マイナンバー制度
マスコットキャラクター
マイナちゃん

いよいよ2016年1月から制度がスタートするマイナンバー。制度が始まると、企業は従業員や報酬の支払いが発生する個人などからマイナンバーを収集し、適切に保管・使用・管理をするために、運用体制の整備、情報システムの改修・導入などを行わなくてはなりません。また漏えいした場合の罰則はとてもしっかりなもののため、万全のセキュリティ対策が求められています。

知っトク!
その1

マイナンバーって？

マイナンバー(個人番号)とは、国民一人ひとりが持つ12桁の番号のことです。



一生使う大切なものです。番号が漏えいし、不正に使われるおそれがある場合を除き変更はされません。

知っトク!
その3

企業は何をしなくてはならないの？

収集・使用・保管・廃棄の4段階で専用の仕組みが必要
行政機関に提出する書類に記載するため、従業員や外部の個人のマイナンバーを収集・使用・保管します。また、不要になった番号は廃棄する必要があります。

安全な管理対策

マイナンバーは「特定個人情報」。安全管理措置義務を負います。

知っトク!
その2

どうしてマイナンバーが必要なの？

行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤として活用されます。

1. 行政の効率化



2. 国民の利便性の向上



3. 公平・公正な社会の実現



解決



コムチュアがマイナンバー制度での企業の課題を解決します！

マイナンバー制度では、番号を保管する専用システムや現在の人事や会計のシステムの改修などの需要が高まり、企業のIT投資も増えてきています。また、マイナンバーの収集から使用・保管を行うためには個人情報保護の観点からもセキュリティ確保が重要なテーマです。

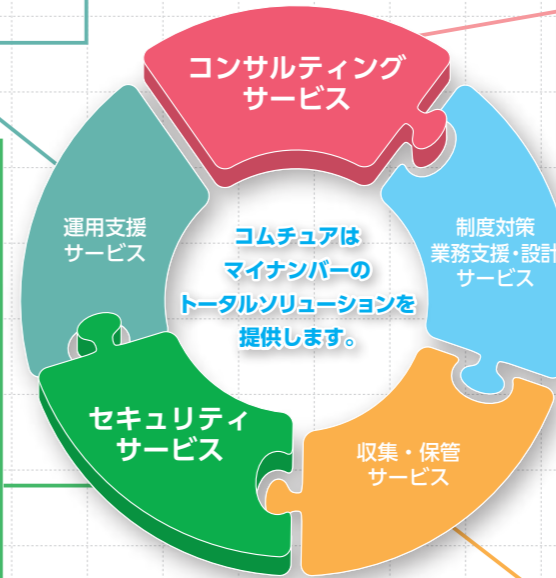
お客様のシステムライフサイクルの全てにおいて高品質のサービスを提供することで、お客様との強い信頼関係を築いているコムチュアだからこそ、上流コンサルティングから改修対象となる業務システム対応・セキュリティ対策など、一貫したサービス・製品をご提供することができるのです。

マイナンバー制度への確実な対応！企業向けマイナンバー対応ソリューション

- マイナンバー教育サービス (運用ルールとセキュリティポリシー)
- 運用監視サービス

- 情報漏えい対策ソリューション
マイナンバー専用DBサーバーのアクセス監視、ログ管理、不正アクセス防止、遮断設定および社内ポリシーの改善を行います。モニタリングや監視レポートも準備いたします。

- ネットワークセキュリティソリューション
先進のセキュリティ技術をベースとしたセキュアなネットワークソリューションをご提案いたします。



コンサルティングサービス

- コンサルティングサービス
企業が対応すべき対策についてのコンサルティングを実施します。

- 情報セキュリティポリシー策定支援サービス
マイナンバー取扱い上のセキュリティリスク分析、および情報セキュリティ対策の強化について支援いたします。

- 業務システム対応支援サービス
お客様の業務やシステム環境に合わせた取扱い方法、管理方法や規定文書化の支援を行います。

- マイナンバー代行収集サービス
- マイナンバーデータ保管サービス

コムチュアな人



マイナンバー制度に関連するビジネスは実は始まったばかりです。来年の1月から使用は始まりますが、私の著書「マイナンバー法のすべて」でもふれた通り、今後も証券・保険との連携や銀行口座連携、また健診データとの連携やクレジットカードとの連携などが見込まれており、その市場規模は3兆円ともいわれています。

コムチュアは、トータルでマイナンバー関連のソリューションをご提供することができます。特に従来から対応してきたセキュリティに関連したシステムの基盤構築と運用サービス、管理方法や規定文書化の支援のためのコンサルティングサービスに力をいれていきます。

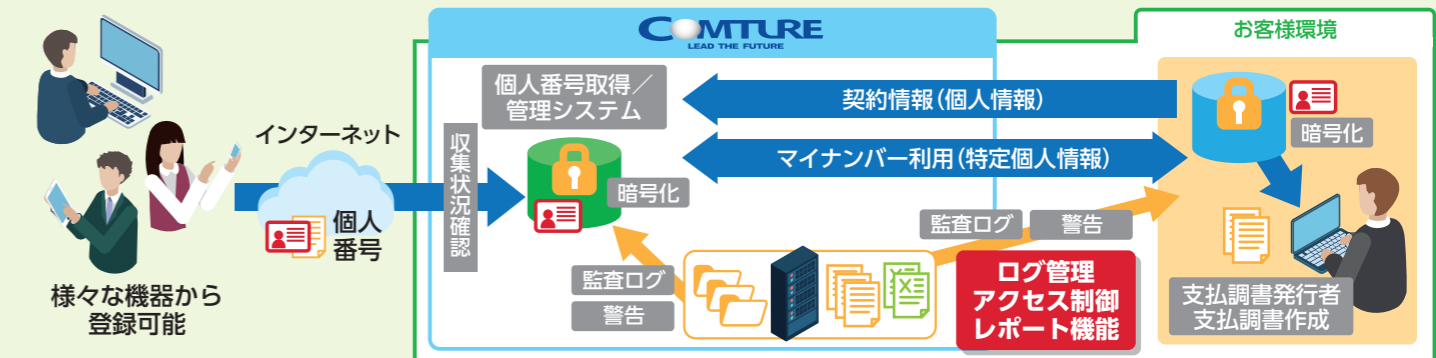
コムチュアネットワーク株式会社 常務取締役
八木 晃二



八木 晃二 編著「マイナンバー法のすべて」
(東洋経済新報社)

マイナンバー対応 セキュリティソリューション

セキュリティ対策に実績のあるコムチュア。
マイナンバー対応ソリューションでもその強みを発揮していきます。



様々な機器から登録可能

インターネット

個人番号

個人番号取得/管理システム

COMPTURE
LEAD THE FUTURE

お客様環境

契約情報(個人情報)

マイナンバー利用(特定個人情報)

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

暗号化

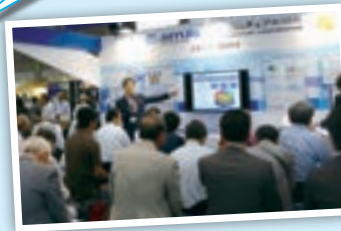
暗号化

暗号化

第32期のIRカレンダー(予定)

2015年	
12月11,12日	野村IR資産運用フェア2015 (東京・ベルサール渋谷ガーデン)
2016年	
1月25日	第3四半期決算発表
2月13日	個人投資家向けIR説明会(福岡・大和IR)
5月	第4四半期決算発表
5月	アナリスト・機関投資家向け決算説明会
6月	定時株主総会

株主の皆様も是非ご参加ください。



日経 IR・投資フェア 2015の様子



東証IRフェスタ 2015の様子

個人投資家向けのみならず
機関投資家向けIR活動も
個別ミーティングを中心に実施しています。

会社データ(2015年9月30日現在)

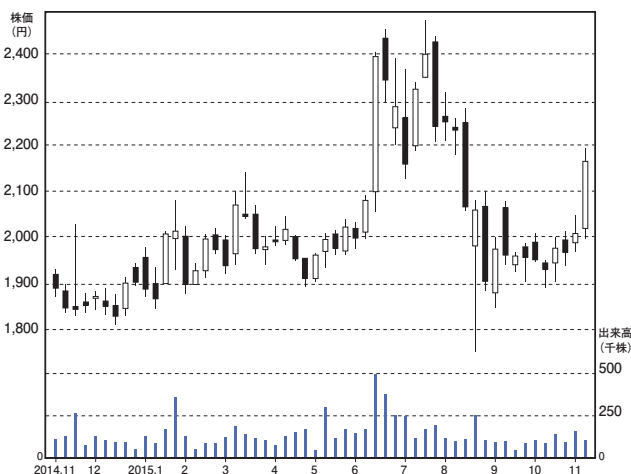
会社概要

商号	コムチュア株式会社 英文会社名:COMTURE CORPORATION
本社所在地	東京都品川区大崎一丁目11番2号
WEBサイト	http://www.comture.com/
設立年月日	1985年1月
資本金	10億1,788万円
従業員数	869名
営業所	大阪営業所

取締役および監査役

代表取締役会長CEO	向 浩一
代表取締役社長COO	大野 健
常務取締役	澤田 千尋
取締役	細川 琢夫
取締役	佐々木 仁
常勤監査役	田村 誠二
常勤監査役	中元 秀明
監査役	和中 新一

株価チャート



大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
有限会社コム	1,090,000	20.37
コムチュア社員持株会	283,300	5.29
BNPパリバ証券	213,000	3.98
株式会社三菱東京UFJ銀行	150,000	2.80
向 浩一	128,000	2.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	126,100	2.35
大野 健	93,000	1.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	89,100	1.66
ゴールドマンサックス証券	80,000	1.49
株式会社SBI証券	62,300	1.16

(注) 1.当社は自己株式500,081株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2.所有比率は自己株式を含んで計算しております。

株式の状況

発行可能株式総数	17,400,000株
発行済株式総数	5,349,900株
株主数	3,369名

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (連絡先・照会先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL (0120) 232-711 (通話無料)
公告方法	電子公告により、当社WEBサイトに公告いたします。但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に公告します。

ご注意

- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。